アクラス4月研修会

「介護の日本語教育について一緒に考えてみませんか？」

2016年4月16日(土)15:00～17:00

神村初美(首都大学東京)
野村愛　(首都大学東京)

介護の日本語教育

・シラバスをどうする？
・情報はどこから？
・介護の専門家ではないのにできる？
・介護の日本語教育を担当することになったけれど・・・漠然とした不安。

なにを、どうしたらいいのかわからない！！

◆本日の流れ

15:00～16:00

「学習者が目指す専門性と日本語教育との線引きについて考える一介護の専門読解の授業を通して一」

神村初美(首都大学東京)

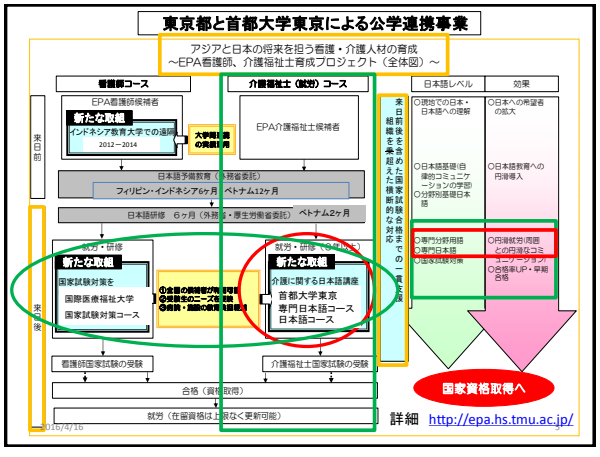
16:10～17:00
「申し送りに関する授業の紹介　―候補者アンケートで評価された授業から―」

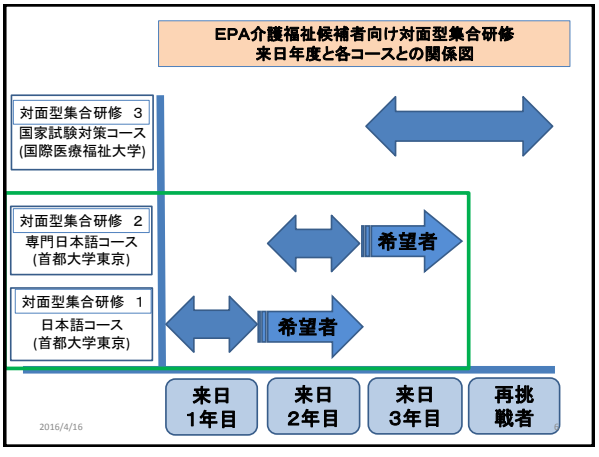
野村愛　(首都大学東京)

15:00～16:00
「学習者が目指す専門性と日本語教育との線引きについて考える

一介護の専門読解の授業を通して一」

専門日本語教育
目的別日本語教育





1. 日本語教育をめぐる変化の視点から考える

1.1 専門日本語教育の視点から

専門日本語教育：「その人を学問的あるいは社会的分業体制の中に組み込めるようにし、その活動の成果が他者にも理解できるようにするための言語能力獲得支援である」（山崎2008）

⇒宇佐美（2014） 専門日本語教育の変遷を概観

対象：『専門日本語教育研究』投稿誌

創刊号1999年ー2013年　14年間

内容：論文・報告　計80編　方法：論文コードシステム

◇1980年代90年代

●対象：急増する留学生 ●想定される場：日本語学校・大学

●期待される役割

・実りある学生生活　アカデミック・ジャパニーズ

・所期の目的を達成できるようにする　4技能の支援

◇2000年代～

●対象・場・期待される役割⇒大きく広がりをみせる　多様化

Ex.「アジア人財資金構想」

「EPAに基づく外国人看護師・介護福祉士候補者の受け入れ」

研究の在り方

初期：特定の学問分野または言語活動の特定の側面ごと言語要素の在り方を分析する研究 → 「分断」

現在：学問分野や言語活動の各側面を統合的に扱おうとする研究 → 「分断から統合へ」

●日本語学習者に日本社会でのさまざまな分野における成員となることを期待する時代

⇒春原（2006）「全体を全体のままとらえよ」

⇒山崎（2008）「個別性の背後にある全体性をとらえるため、一般化の努力をせよ」

2. EPA 介護福祉士候補者を巡る日本語教育支援の現状から考える

●日本語学習者に日本社会でのさまざまな分野における成員となることを期待する時代

⇒来日4年以内に介護福祉士国家試験の受験が課せられる

先行研究：国家試験対策関連の教材開発，介護の難解な専門語彙をめぐる研究，（介護福祉士が直面する方言の問題）、受け入れスキームに関する研究

国家試験対策を射程に入れながらも、さらに踏み込んで候補者の「イマ　ココ」をとらえ、働きかける研究

●日本語教育とは何であるのか？

⇒学習者が目標とする社会の成員として、十全とした参画が叶うことを保証するもの。

●専門日本語教育とは何であるのか？

⇒学習者が目標とする専門分野で必要とされる語彙や表現などの習得及び理解と，それらを用いた言語技能の向上を目指すもの

介護の専門読解

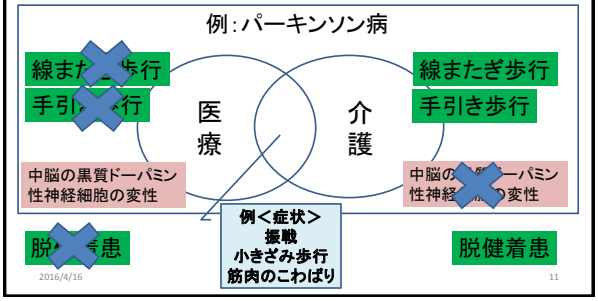
介護の専門性をどう扱うのか？？

※日本語を第二言語として、ある一定期間、継続的に学ぶ学習者に対する日本語教育

3. 介護の言葉を巡る諸相から考える

3.1 医療と介護の言葉にみられる「異なりと重なり」

- 視点の違い



3.2　EPA介護福祉士候補者にみられる言葉の諸相

（1）専門用語の応用化（省エネ化）

・昨日、熱発がありましたから、仕事を休みました。

・〇〇を移乗したとき、重かったので大変でした。

・Aさんは、きざみ食に変えた一方で体重が増えない。

・Aさんは入れ歯を入れた一方で、飲み込みがみられます。

（2）「分からない」という心理状態の記述

・高次脳機能障害が少しい迷っています。

・（高次脳機能障害の発症部位の）頭の部分のfactorが迷っています。

・関節疾患とその特徴的症状がまだはっきりとわかりません。（イメージできない）

豊かな専門性を有した日本語学習者

4. 教室活動の「管理」から「支援」へ

介護の専門日本語教育

⇒実際のデータベースに基づいた議論を積み重ねていく必要性
⇒発想の転換の必要性

「これらの種を拾って収集・分析することによって個別性の背後にある全体性をとらえる（山崎2008）」

実践研究の積み重ねから
一般化・発展につながる

発想の転換　館岡（2006）

管理：自分から出発して相手を変えようとする発想
支援：相手から出発して自分を変える発想
⇒経営学　上から下への支援の姿勢で運営を行うことによって、実は安定的運営と安定的利益追求を可能にするという主張

⇒安定した日本語力及び、確実な日本語運用能力の向上につながる可能性

●豊かな専門性を有した日本語学習者に対する教室活動（N3レベル以上）

「管理」から「支援」へ　という視点

- 現状　国家試験対策に引きずられた
  EPA候補者を巡る日本語教育および日本語研究

「管理」：国家試験対策のような日本語授業
一律：いつまでに、なにを、どれくらい
どう覚えさせる

「支援」：国家試験対策を射程に入れた専門日本語教育
学習者の持っているもの
活かす
引き出す
つなげる

5.「橋渡しの専門日本語教育」としてのCBIモデル

CBI（Content-Based Language Instruction）モデル

・内容重視の言語教育
・「橋渡しの専門日本語教育」を対象とした学習環境のデザインの一つ
・母語（以下L1）以外の学習言語（以下L2）で，学習者が目指す専門領域での知識の理解を深めながら，L2の習得促進も同時に図ることを目指す。
・近松（2009）：
米国の外国語教育:その指針としての5Cを統合できる理想的な設定
日本語教育:いまだ実践が遅れている

5Cとは

全米外国語教師会が掲げる総合言語教育の目標及び指針

1) Communication: **情報や意見の理解・伝達**を目的とする言語能力の養成，
2) Cultures　:言語の背景にある**文化や社会の理解**，
3) Connections　: 言語を通して**他教科と関連づけた学習**，
4) Comparisons **: 母語と学習言語及びその文化の比較・理解**
5) Communities:教室を超えた地域・**多言語社会での学習活動**

(National Standard in Foreign Language Education,1999)

（表1）　北米におけるCBIモデル(近松2009:p143)

	モデル	主目的（内容,言語）	主言語（L1，L2）	学習言語の役割	主講師（専門,言語）	主対象（母・非母語話者）
1	FLAC	内容	L1（+L2）	補助ツール	専門	母語話者
2	LSP	言語	L2	主目的	言語	非母語話者（専門）
3	Theme-based	言語	L2	主目的	言語	非母語話者（専門）
4	Sheltered	内容	L2	主要ツール	専門	母語・非母語話者
5	Adjunct	内容	L1・L2※	主要ツール	専門	非母語話者

（※この場合，対象言語が母語話者にとってL1,非母語話者にとってL2）

LSPモデルとシェルターモデル

●LSP(Language for Specific Purpose)
・非母語話者が対象
・言語教師が専門の関連トピックスを通して専門用語等の言語運用能力の向上を図る
● Sheltered
・非母語話者が対象
・専門家による内容に関する学習が中心
言語学習は内容の理解をサポートする位置づけ

実践　2年目における午前と午後の学習設定」

	主講師	読解素材	授業構成	授業詳細
午前	言語	解釈 文章	CBI,LSPモデル	立体的な 専門読解の授業

	主講師	授業構成	授業詳細			
午後	専門	CBI,シェルターモデル	専門解説	インプット	過去問題 演習：協働	批判的に過去問題を捉える取組
	言語			フィードバック		

1年目の「TT振り返り」から課題

介護の文脈での言語教育に専門性を絡め、どのように理解に繋げるのか

工夫

午前

1) 音読を活用しながら専門語彙や表現の獲得を促進
2) ４技能統合タスクから読解力の向上を図る
3) 積極的に既有知識、及びピア学習を促す

立体的な専門読解の授業

6.「介護の専門読解」の授業事例から
一教室活動の「管理」から「支援」へ一

介護保険に関する読解の授業
「地域包括ケアシステム」

立体的な専門読解の授業

介護の専門読解　導入部分

① 「地域包括ケアシステム」って何をする、どういう立場の人？
② 「地域包括支援センター」って何？どんなことをするところ？
③ 「地域包括支援センターの機能と役割」って何だろう？
④もう一度①②③について整理してみよう。
⑤「地域包括ケアシステム」,「地域包括支援センター」,「地域包括支援センターの機能と役割」を取り上げた国家試験の問題にチャレンジしよう。

地域包括ケアシステム

地域包括(ちいきほうかつ)ケアシステムとは、団塊(だんかい)の世代(せだい)が75歳以上となる2025年を目途(めど)に、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるケアシステムを目指すもの。地域包括(ちいきほうかつ)ケアシステムはおおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏(けん)域(いき)(中学校区)を単位として想定している。

今後、認知症高齢者の増加が見込(みこ)まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域で包括的なケアシステムを構築(こうちく)することが重要だとされるところから始まった。

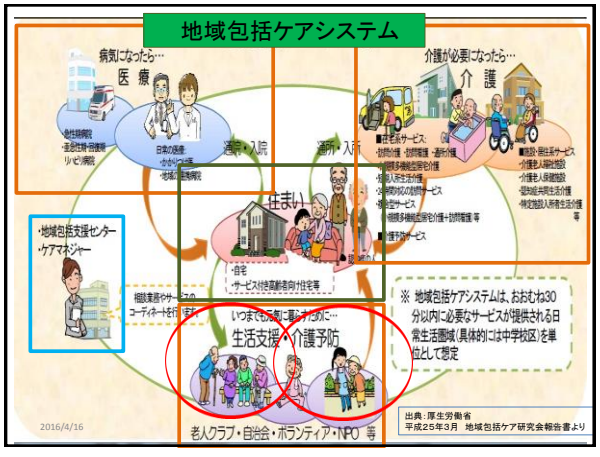
人口が横(よこ)ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩(ゆる)やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じている。そのため、地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、それぞれの地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要だとされている。

参考文献：厚生労働省　平成２５年３月　地域包括ケア研究会報告書より

	言葉や表現
①	包括
②	団塊(だんかい)の世代(せだい)
③	目途
④	住み慣れた地域
⑤	一体的に提供する
⑥	～を目指す
⑦	おおむね

地域包括ケアシステム

地域包括(ちいきほうかつ)ケアシステムとは、団塊(だんかい)の世代(せだい)が75歳以上となる2025年を目途(めど)に、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるケアシステムを目指すもの。地域包括(ちいきほうかつ)ケアシステムはおおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏(けん)域(いき)(中学校区)を単位として想定している。



(1)「地域(ちいき)包括(ほうかつ)ケアシステム」についてまとめた下の文章内の[　　]に入る適切な言葉を下の中から選び、その記号を書きましょう。

キーワード　a) 2025年　b)自分らしい暮らし　c)提供される　d) 生活支援　e) 75歳以上　f) 重度な要介護状態　g) 団塊の世代　h)住まい　i)介護　j) 予防　k)住み慣れた地域　l)一体的　m) 医療

地域包括ケアシステムとは、①[g)団塊の世代]が、②[e)75歳以上] となる③[a)2025年] を目途に、④ f)重度な[要介護状態] となっても⑤[k) 住み慣れた地域]で⑥[b) 自分らしい暮らし]を人生の最後まで続けることができるよう、⑦[h)住まい]⑧[m)医療]⑨[i)介護]⑩[j)予防]⑪[d)生活支援]が⑫[l)一体的]に⑬[c)提供される]システムを目指すもの。

(1)で完成させた文章を読んでみよう。

(3)どうして「団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途(目標)」に「地域包括ケアシステム」を行うのだと思いますか。話してみましょう。

第1次ベーブーム(1947年ー1949年)の時に、たくさん子供が生まれた。

その時の子供たちが、75歳以上の高齢者になるのは、2025年である。つまり。2025年に一度にたくさんの高齢者が増えることが分かっているから。その準備のため。

(4)「地域包括ケアシステム」では、①**どういう状態**になっても、②**どこで**、③**どのような**人生を、④**いつまで**、続けることができるようにするといっていますか。

①どういう状態になっても？：
重度な要介護状態 となっても

②どこで？
住みなれた地域 で

③どのような人生を？
自分らしい 暮らしを

④いつまで？　人生 の最後まで

●表現を確認しよう。

「～らしい」

- 接続の形：N ＋ らしいN / Nらしく V
- 意味：Nの性格や様子にぴったり合っている、とてもよくNの性格や様子を表していると言いたいときに使う表現

2016/4/16 31

例１　今日は秋らしい天気だね。風が涼しくて気持ちがいい・・・。
N

例2　お正月は、お正月らしく、ごちそうにしよう！。
N

例3　他人の目よりも、自分らしく生きることが大切です。
N

意味：・N の性格や様子にぴったり合っている
・とてもよくNの性格や様子を表している
[N についての共通認識が必要]

※認識（にんしき）：Cognition/kesadaran/nhận thức

2016/4/16 32

練習問題　[インドネシア人/フィリピン人/ベトナム人]って、どんな人？？
あなたと同じ [インドネシア人/フィリピン人/ベトナム人]の人の友達について教えてください。インドネシア人/フィリピン人/ベトナム人**らしい**な・・と思う人はいますか？どんな人ですか？

あなたと同じ[インドネシア人/フィリピン人/ベトナム人]は、一般的にどんな人（性格の中のいいところ）だと言われていますか？

例　日本人：まじめ，はたらきもの，**几帳面**(きちょうめん)
インドネシア人/ ？？
フィリピン人/ ？？
ベトナム人/ ？？？

2016/4/16 33

一緒に考えてみましょう①

（6）文章中の「自分らしい暮らし」とは、例えばどういう暮らしだと思いますか？話してみましょう。

2年前　自分にちょうど合った、毎日の生活
ナラティブ

昨年　今の自分が気持ちよくすごせる毎日の生活
文脈を読み解く

2016/4/16 34

一緒に考えてみましょう②

（10）これから大都市や町村部の「全体の人口」と「75歳以上の人口」はどのように変化していくといっていますか。

変化	全体の人口	75歳以上の人口
大都市	横ばい	急増
町村部	減少	ゆるやかだが増加

2016/4/16 35

【確認❷】「地域包括支援センターどんなことをするところ？
先週したけどもう一度！

地域包括支援センターは、「地域包括ケア」の考え方に基づいている。「地域包括ケア」とは、高齢者が住み慣れた地域で尊厳のある生活を継続することができるよう、要介護状態になっても高齢者のニーズや状態の変化に応じて必要なサービスが切れ目なく提供される「包括的かつ継続的なサービス体制」を目指すものである。

2016/4/16 38

このような体制を支える地域の中核機関として、新たに「地域包括支援センター」の設置が始まった。（2005年平成17年介護保険法改正）
そのため、地域包括支援センターは、「地域包括ケア」の考え方に基づいている。

2016/4/16 39

地域包括支援センターは、公正・中立な立場から、①総合相談支援、②虐待の早期発見・防止などの権利擁護（ようご）、③包括的・継続的ケアマネジメント支援、④介護予防ケアマネジメントという4つの機能を担（にな）う。⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援に際し、主任介護支援専門員の配置が義務付けられている。

2016/4/16 40

（1）「地域包括ケア」とは何だと言っていますか。適切な言葉をいれてから読んでみよう。

「地域包括ケア」とは、高齢者が[① E)住み慣れた地域]で[② B)尊厳のある生活]を継続することができるよう、[③ C)要介護状態]になっても高齢者のニーズや状態の変化に応じて[④ F)必要なサービス]が[⑤ D)切れ目なく]**提供される**「[⑥ A)包括的かつ継続的**なサービス体制**」を目指すものである。

A）包括的かつ継続的　B）尊厳のある生活
C）要介護状態　D）切れ目なく
E）住み慣れた地域　F）必要なサービス

●**11月10日授業の宿題**

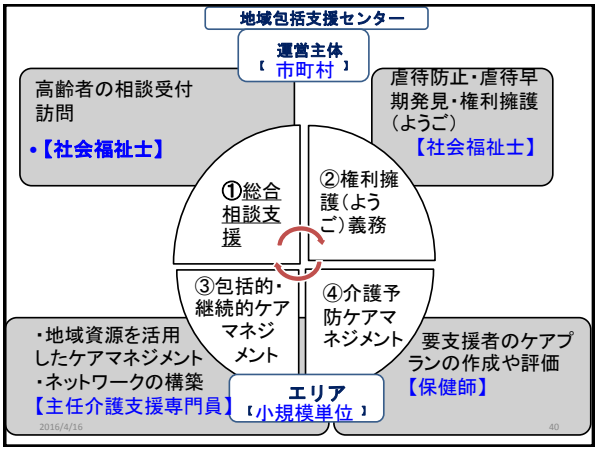
（1）地域包括支援センターは何の考え方に基づいていると言っていますか。

地域包括（ほうかつ）　ケア

の考え方に基づいている。

介護の専門家による資料

地域包括支援センターの概要	
運営主体	市町村
エリア	小規模単位（＝中学校区）で設置
職員体制	決められている 【★ポイント①～④は、担当する人が違う！】 ① 総合相談支援　（社会福祉士） ② 虐待の早期発見・防止などの権利擁護（社会福祉士） ③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援（主任介護支援専門員） ④ 介護予防ケアマネジメント　（保健師）



立体的な専門読解の授業

豊かな専門性を有した日本語学習者による作例

[あなたの国の食べ物や飲み物を [Nは_によって、_という効果がある_です]で説明してみよう。]

作例 1:グアバ**は**含まれる成分**によって**下痢を止めたりデングの熱を下げたりする**という効果がある**果物**です**。

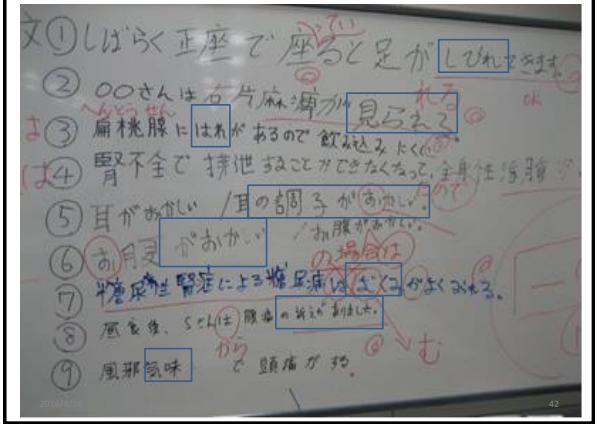
作例2:パパヤ**は**含まれる成分**によって**免疫気力高める、心臓病**に効果がある**、体の炎症を軽減するという**効果がある**果物**です**。

作例3:アボカドの葉**は**ふくまれる成分**によって**コレステロールを下げる、結石をなおす**という効果がある**くだものの**は**です**。

作例4:Coconut**は**ふくまれる成分(oil)**によって**物質代謝を促進する、アテローム性動脈硬化症予防、食物繊維が高い、ぜんどう運動、juice摂取しやすいすぐenergyになる**という効果がある**果物**です**。

作例5:マングスティン**は**海日摂取すること**によって**癌の予防、高血圧を下げる、アレルギ予防、白内障予防、抗真菌、ストレス**という効果がある**果物**です**。

（候補者による作成文のまま転記）



7. 課題

- 教室活動と自己学習をどうつなげるのか
- 施設との連携

参考文献

池田俊一(2015)「成年期を迎えた日本語教育ーー般発表の概要と所感ー」『日本語教育』160号, pp34-39 日本語教育学会

今村かほる・中島祥子(2015)「EPAによる看護師・介護福祉士候補者の直面する方言の問題について」『2014年度日本語教育学会秋季大会予稿集』, pp 171-176

上野美香(2013)「介護施設におけるインドネシア人候補者の日本語をめぐる諸問題—日本人介護職員の視点からの分析と課題提起—」『日本語教育』156号, pp 1-15

宇佐美洋(2014)「分断から統合へ一人間同士の協働を目指す「専門日本語教育」ー」『専門日本語教育研究第16号2014』, pp3-8 専門日本語教育学会

大関由貴・奥村匡子・神吉宇一(2014)「外国人介護人材に関する日本語教育の現状と課題—経済連携協定による来日者を対象とした研究を中心に—」『国際経営フォーラム』Vol.25, pp239-280

大平幸(2015)「専門用語が生活において意味のあることばになっていく過程ージャンルの獲得という視点からの分析ー」, pp79-93 日本語教育学会

神村初美・三橋麻子(2015)「EPA介護福祉士候補者に対するシラバス作成-「どこから, なにを, どのように-」の視点から捉えた成果と課題」『第17回専門日本語教育学会研究討論会誌』, pp14-15

神村初美・小平めぐみ「EPA介護福祉士候補者に対する介護専門家と日本語教師とのティームティーチング—CBIモデルに基づいた授業実践報告からの提案—」『2015年度日本語教育学会春季大会予稿集』, pp 141-146

舘岡康雄(2006)『利他性の経済学—支援が必然となる時代へ』新曜社

近松暢子(2009)「米国におけるコンテント・コミュニティーベース授業の試みー米国シカゴ日系人史ー」『世界の日本語教育』第19号, 141-156

春原憲一郎(2006)「専門日本語教育の可能性—多文化社会における専門日本語の役割—」『専門日本語教育研究』第8号, 295-296

山崎信寿(2008)「専門日本語の気配り」『専門日本語教育研究第10号2014』, pp19-824 専門日本語教育学会

Brinton,D.M.,Snow,M.A.,and Wesche,M.(2003).*Content-based Second Lanngnage Instraction*,Ann Arbor,MI: The Unversity ofMichigan Press.

Stryker,S.B. and Leaver,B.L.(1997).*Content-based instruction in foreign language education; Models and methods.* Washington, D.C.: Georgetown University Press.